



## ひくまの : 浜松医科大学附属図書館報. No. 50

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学附属図書館 公開日: 2018-09-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 浜松医科大学附属図書館 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/00003379">http://hdl.handle.net/10271/00003379</a>

# ひくまの

Hamamatsu University School of Medicine  
Library Bulletin Mar, 2006

[http:// www.lib.hama-med.ac.jp/](http://www.lib.hama-med.ac.jp/)

## 目 次

- ・ 研究評価雑感 生理学第一 教授 福田敦夫 … ■
- ・ 四季折々の花を愛で心を和ます図書館へのみち 地域看護学 講師 中谷芳美 … ■
- ・ サイエンス・ダイレクトのユーザー登録とパーソナルログインについて …… ■
- ・ 2006年新規購入・中止雑誌等のお知らせ …… ■
- ・ トピックス …… ■
- ・ 電子ジャーナルの利用にあたって …… ■
- ・ 平成18年度浜松医科大学附属図書館開館予定日 …… ■

## 研究評価雑感

生理学第一 教授 福田敦夫

研究評価のために毎月のように業績を報告させられることに、へきえきとしながら感じたことについて、とりとめもなくではあるが少し述べてみたい。

欧米では研究評価が同じ分野の研究者によって行われる (peer review) のに対し、我が国や中国、韓国などでは行政主導で行なわれる。そのため、研究内容と無関係に評価できる Impact Factor (IF) が利用されている。しかしいくつかの問題点がある。IFは雑誌の評価であって論文個々の評価でないこと、発刊後2年間の引用数しか反映されないためにトピック性が評価され、長く引用されるような地道な仕事は評価されないこと、加えて領域の論文総数と被引用傾向 (後述) に大きく影響されるため、分野間の偏りが大きく出てしまうこと等である。それに対して Citation Index では、個々の論文が何回引用されたかの累積データであるので、個人の研究評価としてはIFより優れている。ただデータベースの普及の問題でこれまであまり利用されてこなかった。ところが、今ではインターネットで誰でも簡単にアクセスできる (<http://scholar.google.com/>)。トップ画面から Advanced Scholar Search に入って論文題名を入力すればその論文の citation 数を知ることができる。しかも、検索結果をアドレスとして保存できるので、いつでもワンクリックでその論文の最新の被引用数を知ることができる。毎年変わる IFをそのつど自分で調べては集計させられている (無駄な時間の) ことをおもえば、早く citation による評価に切り替えてもらいたい

ものである。

ところで、今回COE関係の業績評価のために自身の論文のcitationを調べるように指示されたので、実際にやってみた。まずは、実際の被引用数とIFとの不一致に驚いた。IFは一つの論文の当初2年間の被引用数の雑誌あたりの平均値なので、とりあえず2年前(2003年)の論文で比較してみた。神経生理学の専門誌(IF 3.6)に載った論文の被引用数が17あるのに対し、免疫学の専門誌(IF 6.5)に載ったほうは7回の引用にとどまっていた。論文の内容と雑誌のスコープの一致性を無視してまでIFの高い雑誌に投稿しようとする姿勢は研究者として本末転倒であるが、結局自分のためにもならないようである。さらに、2004年のほぼ同時期に生理学の専門誌(IF 4.3)と神経科学の専門誌(IF 7.9)に載った論文の引用数を調べてみると、前者は1年間で16回引用されているのに対し、後者は1回であった。たったの1回というのは少々ショックだったが、まだ1年なので今後引用数が増えるのを期待したい。そこで、ひとつの論文が出版後どのくらいの期間引用されるのかについて、1998年の調査にもとづいた参考文献で調べてみた(研究評価:根岸正光 山崎茂明 編著,丸善)。

分子生物学のような最先端分野だと10年以上たっても引用されるものは17%しかないのに対し、生理学のような古典的学問では51%が10年以上たっても引用されていることがわかった。生理学分野の雑誌のIF(当初2年間の引用しかカウントされない)が低い理由はこのような被引用傾向(10年以内の論文の引用割合が半分以下)によっていると思われる。ならば気長に待つことにしよう。そこで、ひとつの論文がそのlife timeに何回引用されるかについて調べてみると、医学・生物学分野で9.4であった。ちなみに浜松医大関係の論文では8.6なので、いっそうの努力が必要ということになるのか。

ところで、論文の被引用数の平均値は、数少ないhot paper(被引用数1000以上)に相当引っ張られているようである。データによると、なんと全体の19.6%が被引用数0で、1回が12.2%、被引用数2以下の論文が全体の41.3%だそうである。いかに引用が一部の論文に集中しているかがわかる。ちなみに引用数100以上の論文は全体のわずか0.6%である。裏を返せばせっかく書いた論文も大部分は見向きもされていないということになる。「そんな自己満足の研究に税金を投入するなどもってのほか」と天の声が聞こえてきそうである。

最近の傾向として、税金を使った研究は社会に還元されるべきであって、引用もされないような社会貢献のない研究は税金投入の価値がないとみなされる。社会還元、accountabilityなどの美名のもと、こうした行政評価は年々度を強めてきている。特に高額の研究費に対する評価は厳しく、中間評価をもとに継続の是非が問われる。accountabilityとしてIFなら20-30点でやっと成果とみなされるそうである。ただ、この「成果」とは、我々が思い描く成果とはズレがあるようである。実験の過程で遭遇した意外な事実から新たな原理を導けたとしたら、それが予想外のものであればあるほど研究者は興奮し、成果を上げた喜びであろう。しかし、行政的にはそうではないらしい。つまり、研究助成も公共事業なので計画書とおりの予想された結果こそが「成果」なのである。計画書に無い新発見を追いかけすぎると研究費の流用とも言われかねない。

最近、国家プロジェクト的巨額研究費を投入されて最先端を走ってきた韓国や日本の研究者の論文捏造が世間を騒がせている。計画どおりの「成果」を求めすぎたのだろうか。そんなストレスを感じてまで高額研究費はいらぬなどと嘯いているのは、計画通りの結果を出せたことのない凡才研究者のやっかみだろうか。

## 四季折々の花を愛で心を和ます図書館へのみち

地域看護学 講師 中谷 芳美

金沢から浜松の地に移り住み5度目の春を迎えようとしています。浜松医科大学のキャンパス内で一番早く春の訪れを感じるのには、講義実習棟、特別講義室の窓から見える白梅と紅梅でしょうか。3年前の大寒、大学入試センターの試験監督中に紅白の梅の花を初めて見た時の驚きは、今でも忘れることができません。北陸では、雪が解けて梅の花が咲きます。梅の花を見て厳しい冬を乗り越えた実感したものです。浜松では、今はどんなに寒くても、もうすぐそこに春が来ていることを感じさせてくれました。

梅花と言えば、大宰府へ左遷させられることになった菅原道真が京都の自宅で最後に詠んだ「東風吹かば匂ひおこせよ梅の花 主なしとて春を忘るな」を思い出す方も多いと思います。梅の名は、日本書紀や古事記には見られず、奈良時代後期に編纂された万葉集から登場します。万葉集では、梅を詠んだ歌は萩に次いで多く119首あります。雪と一緒に詠んだ歌が多く、肌を刺すような寒気の中、凜と上を向いて咲く清楚な梅の花が私は大好きです。

「梅の花降り覆ふ雪を包み持ち 君に見せむと取れば消につつ (万葉集 1833: 詠み人知らず)」(梅の花に降り積もる雪を包んで持ち、君にお見せしようと思つて取ると片端から消えていきます。) 相聞歌ですが好きな短歌の一つです。

「梅の花咲きて散りなば桜花 継ぎて咲くべくなりにてあらずや (万葉集 5-829: 張氏福子)」(梅の花が咲いて散ってしまったら、継いで桜の花が咲くようになっているんだよ。)3月にはいり桜前線の予想が始まりました。桜の咲く頃は、別れと出会いの季節ですね。看護学科では今年も多く先生方との別れが待っているようです。桜の花は艶やかですが何か物悲しくもあり、散る潔さに心を奪われます。

私が所属する地域看護学講座では、毎年11月から3月にかけて保健所・市町村を実習の場とする地域看護学実習を行っています。この4年半で西は湖西市から東は焼津市、北は龍山・佐久間・水窪まで、計26市町村へ行かせていただきました。秋から冬へと移り変わる山肌の景色、凍てつくような遠州の空っ風、そして早い春の訪れを肌と目で感じる日々です。今は目にも鮮やかな黄色い菜の花と暖かなやさしい風が心を和ませてくれます。とは言いながらも、日中は学外に出ている分、時間的・心理的には余裕のない日々を過ごしています。そんな時“ひくまの”原稿を依頼されました。題材を探しに何度も図書館へ通う道すがら、四季折々の花が植えてあることに気がつきました。また、インターネットの発達により、ともすれば、人と人と人が直接出会い、交流しなくても手軽に本が借りられたり、文献を取り寄せたりできる時代にあつて、図書館の職員の方々とお知り合いになり心とむひとときも持つことができました。

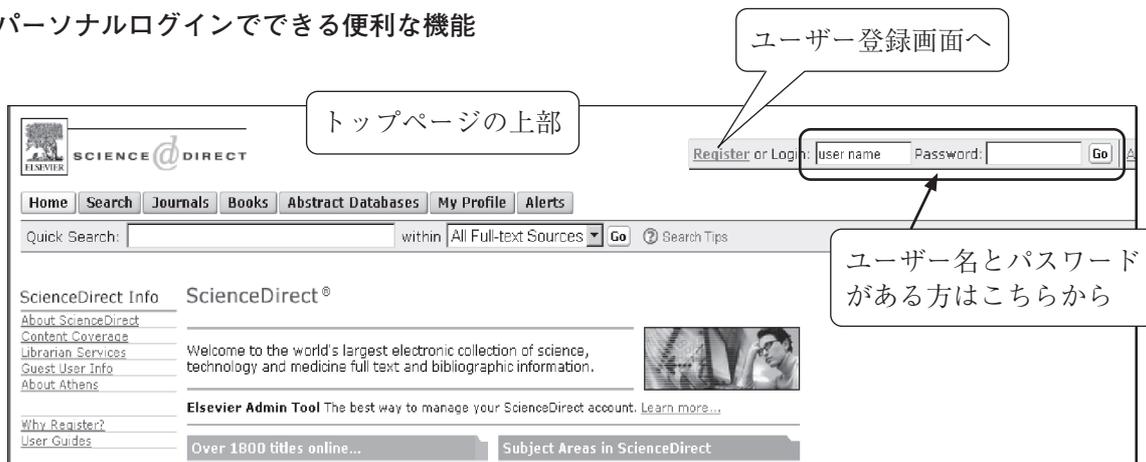
「万代に年は来経とも梅の花 絶ゆることなく咲きわたるべし (万葉集5-830: 佐伯子首)」(どんなに年月が経過しても、梅の花は絶えることなく咲き続けていくことでしょう。) 飛鳥・奈良時代、万葉集の歌が詠まれた時代、日本はどのような自然を有し、人々は自然をどんなふう感じていたのでしょうか。忙しく心に余裕がなく、人と人との触れあい少なくなっている時だからこそ、図書館へ行く道すがらだけでも、折々の草花を愛で、風の変化を感じ、万葉の時代から親しまれてきた四季の美しさを楽しむ時間と心を大切にしたいと思っています。

# サイエンス・ダイレクトの ユーザー登録とパーソナルログインについて

サイエンス・ダイレクトとは、エルゼビアが提供する科学・技術・医学分野の電子ジャーナルサービスです。大学で契約している電子ジャーナルは、学内LANに接続されているコンピュータから無料で利用することができます。便利で効率的な使い方としてパーソナルログインがあります。

<http://www.sciencedirect.com/> または図書館ホームページの電子ジャーナルコーナーからアクセスできます。

## 1. パーソナルログインのできる便利な機能



ユーザー登録を行いログインすると、マイプロフィールまたはアラート画面からお気に入りジャーナルリスト・検索式の保存・保存した検索式の再実行・検索履歴の利用、下記の電子メールアラートの機能が利用できます。

- Search Alerts** …………… 登録した検索条件に合致した論文が掲載されたときに電子メールでお知らせします。
- Volume / Issue Alerts** … 登録したジャーナルの新しい号が掲載されたときにメールでお知らせします。
- Citation Alerts** …………… 登録した論文が他の論文に引用されたときにメールでお知らせします。
- Topic Alerts** …………… あらかじめ登録されているトピックに該当した論文をメールでお知らせします。

その他、パスワードの変更、パーソナルプロフィールの変更、ジャーナル・ブックの収録範囲の確認ができます。

## 2. ユーザー登録してみよう

- ①ユーザー登録していない方は、トップページ右上の **赤** で表示されている **Register** をクリックします。
  - ②ユーザー登録画面で名前、電子メールアドレス、パスワードを英数字で入力します。
  - ③パスワードは5 - 20文字の英数字を2箇所に入力します。
  - ④興味のある分野を選択します。
  - ⑤ユーザー合意書 (Registered User Agreement) を読んでチェックをします。
- \* = required field (\*のチェックがあるところ) は必ず入力してください。
- ⑥ **Done** をクリックします。

Registration Successfulが画面に表示され、登録内容(ユーザー名)を確認するとともに登録内容が電子メールで届きます。

ログイン画面からユーザー名とパスワードを入力してログインしてみてください。

**Registration** ユーザー登録画面記入例

Registration allows you to personalize ScienceDirect. (\* = required field) [Privacy Policy](#)

**Title:** 選択

**First Name:**  名

**Family Name:**  姓

**E-mail Address:**  メールアドレス

**Country:**

**User Role:**

Your ScienceDirect User Name will be automatically generated from your name.  
You will need to specify a password between 5 and 20 characters.

**Password:**  パスワード

**Confirm Password:**  パスワード再度入力

**Please select at least one subject area of interest: \***  
The information you give us will help us to provide you with the best content on ScienceDirect.

**Subject:** 興味のある分野を選択

- Agricultural and Biological Sciences
- Arts and Humanities
- Biochemistry, Genetics and Molecular Biology
- Business, Management and Accounting

Hold down the Ctrl key (or ⌘ key) to select multiple entries.

I wish to receive special offers and promotions from Elsevier B.V. and its Elsevier group affiliates about ScienceDirect and other products and services related to my subject area(s) of interest. チェック

\* I have read and I understand the [Registered User Agreement](#) and agree to be bound by its terms. Done ボタンをクリックすると登録

- ⑤ユーザー登録後パスワードを忘れたら、トップページ右上部の **Go** をクリックして [Forgotton YourUser Name or Password?](#) をクリックします。

次の画面でメールアドレスを入力して、**Submit** をクリックするとユーザー名とパスワードが登録されたアドレスに電子メールで通知されます。

(目録情報係)

## 2006 年新規購入・中止雑誌等のお知らせ

### I. 新規購入

#### [外国雑誌]

1. Nature Reviews Cancer (図書館) \*オンラインのみ
2. Nature Reviews Drug Discovery (図書館) \*オンラインのみ
3. Nature Reviews Microbiology (図書館) \*オンラインのみ

#### [国内雑誌]

1. 公衆衛生 (健康社会医学)
2. 公衆衛生 (地域看護学)
3. 小児看護 (臨床看護学)
4. 働く人の安全と健康 (地域看護学)
5. 保健師ジャーナル (地域看護学)
6. 臨床泌尿器科 (泌尿器科学)
7. 圖書新聞 (倫理学)

### II. 購読中止

#### [外国雑誌]

1. Advances in parasitology (寄生虫学)
2. Anesthesia and analgesia (図書館)
3. Archives of otolaryngology- head & neck surgery (図書館)
4. British journal of anaesthesia (麻酔・蘇生学)
5. British journal of psychiatry (精神神経医学)
6. British journal of psychiatry. Supplement (精神神経医学)
7. Canadian journal of anaesthesia (麻酔・蘇生学)
8. Clinical chemistry and laboratory medicine (図書館)
9. Clinical orthopaedics and related research (整形外科科学)
10. Clinical pharmacokinetics (薬剤部)
11. Current orthopaedics (整形外科科学)
12. Diseases of the colon and rectum (図書館)
13. Endocrinology and metabolism clinics of North America (図書館)
14. Genesis (図書館)
15. Hastings Center report (倫理学)
16. Inflammatory bowel diseases (光学医療診療部)
17. Journal of applied physiology (図書館)
18. Journal of bone and joint surgery. American volume (整形外科科学)
19. Journal of bone and joint surgery. British volume (整形外科科学)
20. Journal of bone and mineral research (整形外科科学)
21. Journal of endovascular therapy (図書館)
22. Journal of medicine and philosophy (倫理学)
23. Journal of parasitology (図書館)
24. Journal of pediatric orthopedics (整形外科科学)

25. Journal of pediatric surgery (図書館)
26. Journal of psychosomatic research (保健管理センター)
27. Journal of separation science : JSS (図書館)
28. Journal of the American Academy of Child and Adolescent Psychiatry (精神神経医学)
29. Journal of the American Chemical Society (図書館)
30. Journal of trauma (図書館)
31. Journal of vascular surgery (図書館)
32. Lasers in surgery and medicine (光化学治療寄附研究部門)
33. Lasers in surgery and medicine (図書館)
34. Medical physics (図書館)
35. Medicine, science and the law (図書館)
36. Nature (細胞イメージング研究分野)
37. Neuroimmunomodulation (図書館)
38. Ophthalmic genetics (眼科学)
39. Psychosomatic medicine (保健管理センター)
40. Schizophrenia bulletin (精神神経医学)
41. Scientific American. New series (図書館)
42. Spinal cord (リハビリテーション部)
43. Spine (整形外科学)
44. Surgery (図書館)
45. Synapse (図書館)
46. Techniques in hand & upper extremity surgery (整形外科学)
47. The Journal of hand surgery [A] (整形外科学)
48. The Journal of hand surgery [B] (整形外科学)
49. The journal of heredity (図書館)
50. The journal of histochemistry and cytochemistry (図書館)
51. Theoretical medicine and bioethics (倫理学)
52. Trends in pharmacological sciences (細胞イメージング研究分野)
53. Urology (図書館)
54. Vaccine (微生物学)
55. Zeitschrift für germanistische Linguistik : ZGL (図書館)
56. Zygote (生物学)

\*\*\* 以下は冊子体のみ中止。オンラインは継続 \*\*\*

57. Biochemical and biophysical research communications (図書館)
58. Biochimica et biophysica acta. Molecular and cell biology of lipids (図書館)
59. Biological psychiatry (図書館)
60. Brain research. Combined (図書館)
61. Clinical biochemistry (図書館)
62. Clinical pharmacology and therapeutics (図書館)
63. Current opinion in cell biology (図書館)
64. Developmental biology (図書館)
65. Diabetologia (図書館)

66. Digestive diseases and sciences. New series (図書館)
67. EMBO reports (図書館)
68. Experimental neurology (図書館)
69. Experimental parasitology (図書館)
70. FEBS letters (図書館)
71. Fertility and sterility (図書館)
72. Free radical biology & medicine (図書館)
73. Genomics (図書館)
74. Human pathology (図書館)
75. International journal of legal medicine (図書館)
76. International journal of medical informatics (図書館)
77. Journal of midwifery & women's health (図書館)
78. Journal of molecular biology (図書館)
79. Journal of nuclear cardiology (図書館)
80. Journal of oral and maxillofacial surgery (図書館)
81. Journal of the American Academy of Dermatology (図書館)
82. Mammalian genome (図書館)
83. Midwifery : an international journal (図書館)
84. Nature (図書館)
85. Nature biotechnology (図書館)
86. Nature cell biology (図書館)
87. Nature genetics (図書館)
88. Nature immunology (図書館)
89. Nature medicine (図書館)
90. Nature neuroscience (図書館)
91. Nature reviews genetics (図書館)
92. Nature reviews immunology (内科学第二)
93. Nature reviews molecular cell biology (図書館)
94. Nature reviews neuroscience (図書館)
95. Nature structural & molecular biology (図書館)
96. Neurobiology of disease (図書館)
97. Neuroscience (図書館)
98. Neuroscience letters (図書館)
99. Neuroscience research (図書館)
100. Pain (図書館)
101. Pflügers Archiv (図書館)
102. Preventive medicine (図書館)
103. The EMBO journal (図書館)
104. The journal of biological chemistry (図書館)
105. The Lancet (図書館)
106. Trends in biochemical sciences (図書館)
107. Trends in genetics (図書館)
108. Trends in immunology (図書館)

109. Vision research (図書館)

[国内雑誌]

1. BME : Bio medical engineering (手術部)
2. Food style 21 (健康社会医学)
3. がん看護 (基礎看護学)
4. 学術月報 (精神神経医学)
5. 看護管理 (基礎看護学)
6. 月刊薬事 (薬剤部)
7. 正しい治療と薬の情報 (薬剤部)

Ⅲ. 誌名変更

[国内雑誌]

1. オープンソースマガジン 14 巻 12 号 (2005) から (情報処理センター)  
Formerly: UNIX user

Ⅳ. 終刊

[国内雑誌]

1. N+I network guide 5 巻 11 号 (2005) まで

Ⅴ. 所在変更

[外国雑誌]

1. Acta orthopaedica (図書館⇒整形外科学)
2. American journal of obstetrics and gynecology (図書館⇒産婦人科学)
3. American journal of roentgenology (図書館⇒放射線医学)
4. Current eye research (図書館⇒眼科学)
5. Journal of computer assisted tomography (図書館⇒放射線医学)
6. Journal of vascular and interventional radiology (図書館⇒放射線医学)
7. Urologic clinics of North America (図書館⇒泌尿器科学)



☆自然化学系図書 (化学・生物・物理学・遺伝学) が新しくなりました

一般用図書蔵書の一部入れ替えを図り、化学、生物学、物理学関係の図書を400冊ほど新しく購入しました。主に分類番号420、430、460、QZのところ配架されています。おおいにご利用ください。

☆JCRがWeb版になりました

CD-ROMで利用されていたJCR (Journal of Citation Index) がWeb版に変わり、検索しやすくなりました。JCRを検索することによってインパクトファクターを(1論文あたりの引用回数の平均値を計算したもの)調べるができます。図書館ホームページからもアクセスできます。

## 電子ジャーナルの利用にあたって

電子資料の普及により電子ジャーナルの利用が増加しています。図書館の購入している雑誌も今年度からNatureをはじめ大幅に電子ジャーナルに切り替えました。電子ジャーナルの利用は本学の学生および教職員であれば、誰でもご利用できます。利用にあたって図書館は個々の出版社とライセンス契約を結んでいます。また電子ジャーナルで提供される全ての情報は著作権法により保護されていますので、以下の規程を守ってご利用ください。

- ・個人の調査・研究を目的とする場合に、ダウンロード、プリントアウトすることができますが、一人につき一部に限ります。
- ・短時間に大量の論文のダウンロードや特にプログラムを利用した自動ダウンロードは禁じられています。場合によっては当アクセスを停止されることがありますのでご注意ください。
- ・データを著作権者の同意なしに、配信、転送または大量にコピーし他人に配布すること、また報告書などへ使用することは一切禁止されています。

### 平成 18 年度浜松医科大学附属図書館開館予定日

■ は閉館日 土曜日 13:00-17:00 日曜日 9:00-13:00

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6					1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
30																				
7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5						1	2
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
30	31																			
10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1				1	2	3	4						1	2
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
29	30	31					26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
														31						
1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31